

平成25年2月から法律相談第2木曜日の相談場所は子ども未来センターに変更になります

施設予約システムをご利用ください 2月分から子ども未来センターが 本システムから予約できます

市は、学習施設・体育施設の使用予約の申し込みや空き状況の閲覧などを、インターネットに接続したパソコンや携帯電話または各施設に設置している利用者端末機から行う「立川市施設予約システム」を稼働しています。

今回は、学習施設の予約方法について説明します。

利用方法

- 1. 利用者登録** 本システムの利用には事前に利用者登録が必要です。免許証などの本人確認書類を持って下表の施設で登録ください。既に利用者登録を済ませている方が新たに子ども未来センターを利用する場合も、子ども未来センターでの手続きが必要です(社会教育関係団体、女性総合センター登録団体は手続き不要です)。
- 2. 使用予約** パソコン、携帯電話、利用者端末機から利用予定の施設の予約をします。
- 3. 使用申請** 予約日(抽選)

対象施設	対象	受付場所	受付時間
学習施設	学習館(6館)	各学習館、女性総合センターのうち最も利用頻度が高い施設	年末年始を除く平日午前9時～午後5時、土曜(学習館のみ)午前9時～午後0時15分 ※休館日 学習館：第2・第4月曜日 女性総合センター：第3木曜日
	女性総合センター	女性総合センター=団体	同上
子ども未来センター	構成員5人以上の団体	子ども未来センター	年末年始を除く午前9時～午後9時

申込の場合は抽選日を含めて15日以内に利用施設の窓口で、使用申請をしてください。期限内に窓口で申請を行わないと予約は消滅します。窓口での申請時に使用料の支払いや備品の予約を行ってください。

手話通訳者登録制度

立川市手話通訳者登録試験 日本語または日本語 対応手話

合格後は市に登録し、聴覚障害のある方から依頼があったときに、手話通訳者として活動していただきます。

▼対象 20歳以上の聴者(聞こえる方)で、市の手話通訳者養成講座修了者か、同程度の学習経験のある方
▼登録試験 手話の読み取り・表現と面接
▼日本手話コースは2月24日(日)午前10時から
▼日本語対応手話コースは同日午後2時から、いずれ

手話通訳者養成講座 (初級コース・専門コース)

今後、市の手話通訳者登録試験を受けた方と考えている方への養成講座です。

対象は、市内在住・在勤の18歳以上の聴者(聞こえる方)で各コースの選考会(作文面接)

も会場は総合福祉センター。往復はがきに住所、氏名、生年月日、電話番号、受験コース、手話学習の経歴を書いて、2月15日(必着)までに障害福祉課障害福祉係・内線1517へ

初級コース 手話学習未経験者 毎週火曜日、午前10時30分から15時(選考)。選考会は2月26日(火)午後1時から30分
専門コース 手話学習3年以上の方 毎週水曜日、午前9時30分から11時(選考)。選考会は3月9日(土)午前10時から

各施設の抽選日・予約日

学習館・女性総合センター

●抽選申込 社会教育関係団体等は抽選に参加できます。申込期間は利用日の4か月前(女性総合センターホールは6か月前)の20日～26日です。抽選日の27日に当落が発表されます。

●随時予約 抽選に外れた場合を含め、社会教育関係団体等は利用日の3か月前、一般団体は2か月前の1日から使用予約ができます。女性総合センターホールは5か月前の1日からの

予約です。

子ども未来センター

●抽選申込 使用料が免除される団体は抽選に参加できます。申込期間は利用日の7か月前の20日～26日です。抽選日の27日に当落が発表されます。

●随時予約 抽選に外れた場合を含め、市内団体は利用日の6か月前、市外団体は3か月前の1日から使用予約ができます。くわしくは、市ホームページをご覧ください。

シニアのための「地域で見つける生きがい・やりがい仕事」発見フェア 2月9日～25日

団塊世代の方などが地域で活躍するきっかけづくりの講座を左表の通り開催します。くわしい情報は、市ホームページをご覧ください

場 NPO法人「育て上げ」ネット(高松町2-9-22生活館ビル2階) 各7人(申込順)
協働推進課協働推進係・内線2627へ

講座名等	開催日時	講師等	内容・費用
シニアのためのキャリアカウンセリング	2月16日(土) 午前9時30分～午後6時30分	NPO法人「育て上げ」ネット・井村良英さん	キャリアコンサルタントが、退職後のキャリア形成に関する相談を個別に受けます。1回60分。無料
自分らしさの再発見と活かし方講座	2月23日(土) 午前10時～午後6時	HRDアソシエイツ代表・前田恒夫さん	これまでの人生を改めて見つめなおすことにより、自分の強みや持ち味を再発見します。自分史&プランも作成できます。事前課題あり。1,000円(資料代等)
フェイスブック入門講座	2月24日(日) 午後1時～4時	東京にしがわ大学授業コーディネーター・西川義信さん	情報発信の手段の一つとして、フェイスブックの正しい利用方法を学びます。パソコン入力ができる方が対象。100円(資料代等)
NPO入門講座	2月25日(月) 午前10時～正午	NPO法人「育て上げ」ネット・岩田博次さん	企業とは違う組織風土を持つNPOで「生きがい・やりがい仕事」を見つけるコツを学びます。100円(資料代等)
地域活動入門講座	2月25日(月) 午後1時～3時	東栄会自治会長・岩瀬英治さん	定年後に初めて自治会長になった講師のお話を聞き、住んでいる地域で「生きがい・やりがい仕事」を見つけるヒントを探します。100円(資料代等)

●インタビューさせていただける方を募集します
「シニアの地域参加・社会貢献」への思いを聞かせてください。インタビューは1対1で行います。インタビュアーはNPO法人「育て上げ」ネット・井村良英さん。謝礼あり 2月9日(土)午前9時30分～午後6時30分のうち90分程度 同法人 5人(申込順)

たまがわ・みらいパークの催し

●「ぼっけんあそび場」作り
幼児と親、小・中学生 2月10日(日)午前10時～午後3時 水筒、お弁当

●甲ターザンの森で自然観察会&ネイチャーゲーム 小学生 3年生以上 2月17日(日)午前9時30分～午後1時 100円(保険代) 定30人(申込順、2月14日までに) ※小学2年生までは応募

●申 プラモデルづくり教室 小学生 2年生以上 2月24日(日)午前9時30分～午後3時30分 定10人(申込順、2月17日までに) ※プラモデルは参加者が用意

●申日曜絵画教室 写生を行います 大人から子どもまで 2月24日(日)午後1時～2時30分 定10人(申込順、2月23日まで)

●申 プラモデルづくり教室 小学生 2年生以上 2月24日(日)午前9時30分～午後3時30分 定10人(申込順、2月17日までに) ※プラモデルは参加者が用意

●申 陶芸教室 陶芸・陶板記念プレート作り 2月9日・23日の土曜日、午後1時30分～3時30分 費子ども500円、大人1千円(材料代) 定10人(申込順、開催日の前日までに)

●申 フリー談話室「さぼう」 自由に参加できる交流の場 毎週土曜日と日曜日の午前10時～午後3時

●申 ホストシスターが日本にいた1か月、私がアメリカにいた1か月、毎日が本当に楽しくて、新しい発見がたくさんありました。少しでも興味のある人はぜひ参加してほしいです。とても良い経験ができるプログラムです。

●申 同委員会事務局(市協働推進課内) 内線2632

姉妹市サンバーナ デイン市への 派遣高校生を募集申

立川・サンバーナデイン姉妹市委員会は、平成25年度にアメリカ合衆国サンバーナデイン市へ派遣する高校生を募集しています。申込書の提出期限は2月4日(必着)です。くわしくはお問い合わせください。

●申 アメリカでは、英語や日本の文化の違いなど多くの事を学

●申 アメリカでは、英語や日本の文化の違いなど多くの事を学

市民編集委員が行く 市民の目線で情報発信

このページ(5~7面)は、市民公募により任命された「広報たちかわ市民編集委員」の皆さんが、市民の目線から企画・取材・執筆・編集した紙面です。わたしたちの住む立川市が重要視する子育て・防災・ごみの3つの課題。実際のところはどうなのでしょう。市民の目で調べてきました。

ママパパの本音

結婚して1年。そろそろ子どもを育てる時期にきた私にとって、立川の子育て事情は気になるテーマです。それぞれの親が遠方に住んでいるために、いざというとき頼る人のいない状況も、先々のことを考えてしまう要因かもしれません。こういうことは実際に子育てしている人に相談するのが一番とばかりに、フリーペーパー「ほほえみ」で活躍するママたちに集まってもらいました(聞き手:坂下)。

ママたちの本音座談会

まず、自己紹介をお願いします。私は立川に越してきて2年、まだ子どもはいません。

石谷「3歳になる息子と主人とマンションに住んでいます。以前は横浜の方に住んでいたのですが、立川の知り合いは少ないです」

小山「3歳の娘と、1歳半になる娘と、私、旦那と4人家族です。育ったのも立川なので、市民としては長いですね」

林「1歳の娘と3人家族です。福岡から越してきたので、立川というより、東京に知り合いがいまません」

石谷「子育てひろばが多いよねえ」

小山「子どもと2人つきりだと息が詰まるんです。だから、お友達をつくりたくてひろばに行くようになりました。子育ての友達は大事ですよ」

林「あえて言えば、もう少し広いひろばだとうれしかな。うちのリビングくらいしか無いところもあるから…」

イベントがあると、知らない人も仲良くなれますね」

率直にお伺いしたいのですが、立川は子育てする人にとって優しい街ですか。

石谷「優しくはないということはないかな。保育所もある程度入れるし、行政が主催する講座やイベントもそれなりの数があるし」

林「でも、1歳を超えると参加できる数が減ったり、時間帯によって区切ったりという使いづらさもあるから、改善してほしいかな」

市としても支援策をいろいろと考えていますが、そういったハード面と、近所の知り合いなどのソフト面が必要かなと思うんです。子育てしてる人同士のつながりはどうつくってるんでしょうか。

石谷「近所付き合いは本当に大切、って痛感しています。たまたまお隣のお子さんが同じ時期に生まれたと聞いて、遊ぶようになって、そのまた知り合いとつながって遊ぶようになっていきました」

小山「会おうと思えば会えるのが近所の良さだからね。私ももぐもぐしゅわしゅわの講座で一緒になった人と仲良くなりました」

林「ママが働いていて保育園というケースと、主婦で幼稚園

というケースで、つながりも分かれちゃうよねえ」

石谷「どちらにせよ、イベントとかも自分から行かないとながれないかも」

小山「マンションの中でそういったイベントをやるうと考えると、今のところ、そういった機会が無いので」

石谷「なかなか地元の情報ってどこで知ればいいのか分からないんです。だから口コミってすごく大事なんですよ、『ほほえみ』みたいな」

小山「以前働いていたから、専業主婦になってみて、働いていたほうが子育ては楽だったかなと思えます」

林「バランスが取れるんだらうね。精神的に息詰まるのは専業主婦なのかなと」

パパの協力も欠かせませんよね。パパ同士のつながりってあるんですか。

石谷「うちの人は、幼稚園のパパ友と飲みに行っていますね」

小山「パパ同士が知り合いだと家族ぐるみで出かけたりのしやすいよね」

イクメンという流行語もあるようですが。

小山「子どもとパパだけにしちゃうと、かえって仕事が増えたりして(笑)。だから4人で出かけることが多いかな」

石谷「たまに家に居てちょっと

家事をやると、俺はイクメンだぞみたいな顔されて、ムカッときたみたいな(笑)」

小山「早く帰ってきて、話を聞いてくれるのが一番(全員納得)」

※「ほほえみ」の皆さんのお名前は仮名を使用しています。

つながりが子育てに

ママだけの子育て、パパとママだけの子育てではなく、つながりが子育てする力になるということなのかなと、座談会や講座で感じました。つながりをつくるには、もちろん市やNPOが主催する企画も便利ですが、まずは近所の人や同じような子育ての家族に声をかける、ほんの少しの勇気が必要ですよ。そこで立川の中で、近所や地域の子育てを通じてつながりを探して写真に撮ってきました。子どもの存在があることで、周囲の人がつながっていく姿がそこにありました。(坂下)



パパ同士も盛り上がる

付け焼き刃のイクメンでは逆効果ということが身に染みたくところで、今度はパパ同士のつながりに参加してみました。立川市では数年前から父親が子育てを楽しむきっかけづくりにと「イクメン講座」を行っています。

今回は「子育てとIT」というテーマで10人程度のイクメンが参加。わたしたちを取り巻くITの実情を学んだ上で、3つのグループに分かれて「子育てする上でのITにまつわる悩み」などを話し合いました。ITに生活のすべてを支配されるのは避けたいですが、まったく使わない生活も考えられず、どこで線引きするかが難しいことを皆さん感じているようです。

ほかのパパとの接点について、合間に質問してみました。

「幼稚園や保育園に入るまではなかなか接点が無い」

「仕事だけで精一杯。イクメンに近づきたいけれど、何から始めたらいいかわからない」

「目的がハッキリしていないと集まれないかも。女性は、目的が無くても集まれるのかもしれないけれど…」

講座の時間が終わっても、席を立つパパは皆無。それぞれのグループでのパパトークが盛り上がりつつありました。パパもつながりがっている!?そんな感触を得ました。



(写真左)自治会を通じて仲良くなったパパ友、もちつきなどのイベントでも大活躍です。

(写真下)「ほほえみ」で知り合ったママ友、子どもを連れて参加する編集会議はいつもにぎやかです。「ほほえみ」は児童館等で配布しています。



図▷子育て、「ほほえみ」について=子ども家庭支援センター☎(528)6871▷イクメン講座について=生涯学習推進センター☎(528)6872